

Z
MAGAZINE

2011 No.43



卷頭特集

姿月あさと

*
*
*

姿月あさと×柳原 大デュオコンサート
ランチパーティー in 軽井沢

LIVE & LUNCH PARTY
in KARUIZAWA

SPECIAL REVIEW

Actress ガラ・コンサート Vol.1 恵比寿アクトスクエア・コンサート
【誌上レポート】

Club-Z会員の皆様に嬉しいお知らせ

年末に向けて姿月が止まらない!怒涛のイベントラッシュ!!

**
姿月あさと
LIVE & LUNCH PARTY
in KARUIZAWA

SPECIAL REVIEW

卷頭特集

姿月あさと×榎原 大 デュオコンサート

5月15日(日)【長野】軽井沢大賀ホール

◆1st／14:00～ ◆2nd／18:00～

鳴りやまない拍手、
今伝えたい思い
ファンクラブイベントと一緒にになった5月の軽井沢公演。姿月あさとと榎原大さんのデュオコンサートは、2人が奏でる音楽に圧倒された方もいらっしゃったのではないでしょうか。今回は、このデュオコンサートと、翌日に行われたファンクラブイベントのレポートを中心にお届けいたします。

開演のベルが鳴り、最初に現れたのは榎原大氏だった。おもむろにピアノの前に座り、演奏が始まること。1曲目『What a wonderful world』のイントロが奏でられる。ビージュに紺色の水玉ブラウスとベージュのパンツルックの姿月が登場し、軽井沢大賀ホールにゆつたりと心地よい時間が流れ始め、第一部が始まった。

そして、そのまま2曲目の『Top of the world』へ。曲の途中でアップテンポとなり、楽しい雰囲気のままMCへ。榎原大氏の発言に大阪弁で突っ込む姿月。会場は一気に和やかなムードに包まれた。

『知床旅情』『たしかなこと』

JAZZ調にアレンジされた『異邦人』と、誰もが知っている3曲を立て続けに唄い上げる。

その後のMCでは姿月が小学校2年生の時にピアノの発表会で初めて人前で弾いた曲『ぴょんぴょこイタチ』を披露。実は、この日の為に爪も切って準備したとか。続いて宝塚歌劇団の試験でこの曲を唄い、グッと成績が上がったという『Bali Hai』、榎原大氏が選曲したという『ディ・ドリーム・ビリー・バー』へと続いた。

1部最後の曲は、『春よ、来い』。まだちらほらと桜の花が残っていた軽井沢でのこの曲は1部の締めくくりにふさわしい曲となつた。

SPECIAL REVIEW

5月15日 沢井日 姿月あさと×榎原 大
デュオコンサート



姿月あさと×榎原大
デュオコンサート 曲目

- 1部 [1] What a wonderful world
 [2] Top of the world
 [3] 知床旅情
 [4] たしかなこと
 [5] 異邦人
 [6] Bali Hai
 [7] デイドリーム・ビリーバー
 [8] 春よ、来い
- 2部 [9] アヴェ・マリア
 [10] 悲愴
 [11] Night And Day
 [12] WE ARE THE CHAMPIONS
 [13] 椰子の実
 [14] リベルタンゴ
 [15] 祈り
- [Encore] 夜明け



15分の休憩をはさみ、2部が始まる。黒いブラウスへと衣装チェンジしたフォーマルなスタイルで登場し、雰囲気ががらりと変わった。

2部最初の曲は、「アヴェ・マリア」。一般的に知られているシェーベルトの「アヴェマリア」ではなく、2人の選曲はカッチー二作曲の『アヴェ・マリア』だった。姿月の「アヴェ・マリア」ではなく、ピアノのメロディーが非常にマッチした1曲となつた。続いて『悲愴』

やかな歌声と榎原大氏の奏でるピアノのメロディーが非常にマッチした1曲となつた。続いて『悲愴』を披露。

MCCでは、2人が交わした携帯メールの話に。姿月の大坂弁はキレを増し、会場がドッと沸いた。

続いて、軽快なリズムで『Night And Day』が始まり、クイーンの名曲『WE ARE THE CHAMPIONS』をJAZZ調にアレンジし日本語で披露した。

榎原大氏のアルバムに収録されていたものを、姿月が気に入つて唄うことになつた『椰子の実』は、榎原大氏曰く「へんてこりんなアレンジ」。実は弦楽器用にアレンジされたものなのだが姿月は果敢にも唄でそれを表現した。

SPECIAL REVIEW

5月15日 井澤日 軽1 姿月あさと×榎原大 デュオコンサート

大氏が足をパーカッション代わりにした情熱的なピアノ演奏と姿月の歌のリズムがとても心地よい曲となつた。

「ピアノ」と「歌声」の「2つの楽器」の共鳴。心地よいセッションは、2人だから出来ることの想い」を客席に存分に詠つていた。

そして、最後の1曲「祈り」。姿月はしつとりと歌い上げ、2人のトソングとなつた。

アンコールでは、今の日本の状況に対する応援歌「夜明け」で、今までボジティブに進もうと呼びかけた。

楽屋まで聞こえてくる大きな拍手、喝りやまないスタンディングオベーション。2人は手をつないで最後の挨拶をし、「姿月あさと×榎原大デュオコンサート」は幕を閉じた。



姿月あさと

ガラ・コンサート Vol.1 *Actress*

6月24日(金)【東京】恵比寿アクトスクエア

◆1st／13:00～ ◆2nd／19:30～

昨年末のディナーミュージカルで披露された秋元康氏脚本、全作詞によるミュージカル「Actress」の音楽を中心とした姿月あさとの新しい形のコンサート。姿月あさと演じる「女優」と生演奏でのステージは迫力満点。姿月あさと「Actress」ガラ・コンサート Vol.1 のレポートをお届けいたします。

「女優」と姿月あさと



6月24日東京・恵比寿アクトスクエア。梅雨真っ只中だというのに、この日は朝からとても気持ちのいいお天氣でした。そして、アクトスクエアのシェフが腕を揮つたご自慢のランチやディナーを頼まれた方もいらっしゃったかと思います。お食事は美味しかったでしょうか?会場には360度ぐるりと大きなスクリーンがあり、階段の両端にはキャンドルが灯されていて、とても素敵な空間でした。開演時間15分前に流れたアナウンスは姿月からのサプライズでした。その後、10分前と5分前も姿月からのアナウンスだったことは、みなさん、お気づきでしたか?さあ、いよいよ本番スタートです。客席の明かりがぼんやりと暗くなり、エディット・ピアフの曲が会場全体に響きわたります。メンバーやが定位置に着き、エディット・ピアフの曲が終わると、白いガウンを纏った姿月扮する「女優」の登場です。『ENCOREの楽園』からスタート。

やはり生演奏でのステージは迫力が違います。すんずんと音が迫ってきます。『何度もキスをして』では、赤いドレスに黒レースのロンググローブ姿で登場。白い帽子をかぶり、途中から白い傘を差して、とてもかわいらしく



姿月あさと「Actress」ガラ・コンサートvol.1
曲目

1部	M1 ENCOREの樂園	2部 M8 エトピリカ
	M2 何度もキスをして	M9 雨に唄えば
	M3 東京タワー	M10 雨
	M4 帰港	M11 おいしい水
	M5 青空の鳥、籠の鳥	M12 アヴェ・マリア
	M6 約束の花束	アンコール 夜明け
	M7 女優	

最後の曲『女優』では、シンバルの音から始まり、切々と歌い上げる次
月の姿が印象的でした。15分の休憩をはさみ、シルバーのスパンコールで敷き詰められたカットソーに黒のロングスカート姿で登場した姿月。2部最初の曲は『エトピリカ』から始まりました。スク

リーンには青く澄んだ空が映し出され、弦楽器とのびやかな姿月の歌声で壮大な1曲となりました。MCでは、傘の話題に。高い傘を買

いかと買ったけど、無くしてしまった話など、客席からも笑い声が聞こえました。みなさんも思わ

ずクスッと笑つてしまつた方もいたのです? 続いての曲は『雨に唄えば』です。スクリーンにもポップでカラフルな水玉模様が映し出され、リズミカルで楽しい1曲となりました。そのまま『雨』へと2曲続きました。アップテンポな曲が続き、盛り上がったところでバンドメンバーの紹介です。今回のメンバーは、バイオリン杉野裕さん、チエロ笠原あやのさん、マリンバ・パーカッションコーラス・アレンジ大石真理恵さんとボーカル姿月の構成でした。MCでは、「おいしいお酒だったらいんすけど今回は水で」と言つて始まつたボサノバ『おいしい水』。そして、ラストの曲は『アヴェ・マリア』で圧倒的なパフォーマンスで客席を魅了してステージを後にしました。

みなさまもとても印象的だったのではないでしょうか?その後アンコールでは、『夜明け』を熱唱しました。心に響きわたり、姿月の歌声に酔いしれた時間となりました。みなさまの楽しい思い出となりました。

すように。

